

# わづか



## 第1回定例会



決まったこと	29年度予算 質疑・討論	>>> P.2
主な質疑	補正予算	>>> P.6
一般質問	4人が町政を問う	>>> P.7
委員会報告	総務厚生・産業	>>> P.13
議会報告	議会構成変更	>>> P.15
まちの元気	ブロッジ ロッジ	>>> P.16

# 平成29年度予算

## 小学校にクーラー等整備へ



マウンテンバイクのコース案内看板

平成29年度当初予算は、町長選挙を控えた「骨格」予算とも言え、「お茶の京都」の当年度でもあり、関連した事業を初め、民泊推進等の「広域観光推進業務」やオープンした観光案内所運営等の新規事業も盛り込まれました。

マウンテンバイク（MTB）事業も引き続き推進すると共に、4年後のワールドマスターズに向けた現地視察費用も計上されました。「負の遺産の危険」指摘や注文も

質疑ではMTB施設の整備や運営に「負の遺産になるのでは」等の指摘や、観光案内所の運営にも厳しい意見や疑問が出される等、見通しを



昨年設置された中学校の空調設備

相楽東部広域連合への負担金の中で、小学校関係で空調整備に9220万円、校舎雨漏り改修に880万円、トイレ洋式化に向けた設計に140万円、中学校関係でトイレ洋式化に向けた設計

に130万円等が計上されました。空調整備は、昨年度の中学校に続くもので、夏休み期間の工事を予定しています。中学校と比べ経費が約4倍と高額になっていますが、過疎債を活用し予算を確保しました。

町は今年度から全行政区を対象に、各区が管理する防犯灯のLED化や維持管理費の補助制度を創設。LED化工事1灯に1万円、

### 防犯灯の設置、維持補助金、自主防災組織の支援を新設

### 観光案内所オープン 「お茶の京都」関連など新規事業も

### クーラー整備の他、雨漏り対策やトイレ改修関係費用を確保

### 3月定例議会では (3月10日開会 24日閉会)

町長提出の平成29年度当初予算、平成28年度補正予算、農業委員に関する条例他9本の条例制定・改正、観光案内所の指定管理者の指定、「湯船辺地に係る公共的施設の総合整備計画」の変更、議員発議の3本の意見書等を審議しました。

当初予算は、15、16日に開催した、全議員で構成する予算特別委員会でも審議し、平成29年度に取組む事業や予算内容等について質疑を行いました。討論、採決の結果、一般会計及び6つの特別会計の当初予算を原案通り可決しました。



LDE化が進められる防犯灯

電気料金等の維持管理費は1灯に年2200円を限度に補助する内容で、350万円を計上。また地域での自主防災組織を支援する制度がつけられ、1組織当り立上げに5万円、運営経費に3万円が補助されます。いずれもこの間の議会審議の中で要望されていた内容で、貴重な成果と言えます。

# 町長選控え「骨格」予算

## 観光振興に重点

定住・移住支援、  
バス路線の維持、再編  
に大きな課題も

空家の活用など住宅

確保の具体化が必要

定住人口を増やすた

めにも住宅確保が課題

であり、町は空家活用

を柱に進める方針です

が、29年度も空家バン

ク制度の整備等のメド

は立っていません。質

疑では、実態調査から

活用への具体化を強く

求める意見もあり、ふ

さわしい取組みが必要

と言えます。また定住

支援の柱でもある子育て

支援についても充実

を求める意見が出され

ましたが、「骨格」予算

の中、現状維持の内容

となっております。

バス路線の「赤字」

当初で3500万

29年度当初予算での

路線バス運行維持補助

金が3500万円と、

昨年比9000万円増で

初めて3000万円を

超えました。

町は、公共交通の再

構築を図るとし、一定

の方向を示しました。

具体的には①3町村連

携での広域バスの運行

②湯船方面の別路線化

など路線バス見直し③

観光利用も含めた奥畑



奈良交通バス

線の再開などです。

質疑では、高校生通

学補助の充実など負担

軽減や利用増への取組

の他、奈良交通への委

託そのものの見直し等

の意見が出ました。「赤

字」が急激に膨らむ中、

便利なまちをどう作る

かの岐路を迎えている

と言えます。

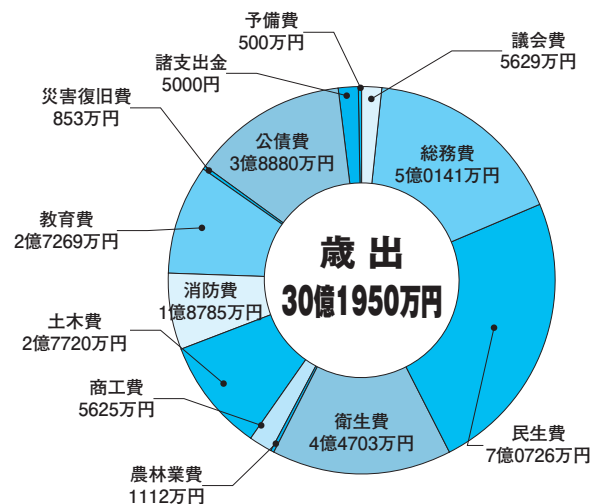
### 【29年度の主な事業】

- 交通安全灯設置維持管理 350万円
- 3町村連携広域バス運行 95万円
- 路線バス運行維持 3500万円
- 小学校空調設備整備 9200万円
- 小学校校舎雨漏り改修 880万円
- 観光案内所管理 617万円
- 広域観光推進 1617万円
- 「お茶の京都」関連 955万円
- ワールドマスターズ調査 44万円
- 自主防災組織補助 40万円

## 特別会計予算

### 介護保険・新総合事業開始へ

湯船財産区、国民健康保険、簡易水道、下水道事業、介護保険、後期高齢者医療の各特別会計の予算案は、原案通り可決しました。介護保険では、要支援者対象の新総合事業が始まり、介護給付から外れ町事業として実施されます。後期高齢者医療では、国の保険料軽減措置が段階的に廃止され、値上げとなるケースもあります。



# 予算特別委員会

## 主な質疑

問 教育委員会を  
広域連合  
で運営は

ふさわしくない。

答 地域性と連携の両面を見  
定めてやる事が大事。

問 庁舎玄関前のスロープは  
不完全では。

答 最適な方式で整備した。

問 北側の段差も解消を。

答 解消すべく進めている。

問 路線バス補助金が約1  
000万円増額だが。

答 乗客数の減少を推定し予  
算計上した。

問 乗客を増やす対策は。

答 観光客の利用を増やすた  
め、東部3町村連携のバス運  
行や町営奥畑線の再開等を検  
討している。

問 奈良交通の便数、乗降客  
の人数は。

答 1日13〜14往復。27年度  
は約10万3400人。

問 高校生通学補助の金額は  
どれくらいか。

答 約200万円程度。  
全額補助にする考えは。

答 慎重に考えている。十分  
考慮し判断したい。

問 空き家活用の制度整備の  
具体策は。

答 増減や戸数等を再調査す  
る必要がある。

問 調査だけではなく制度整  
備や活用を。

答 整備したいが、いつから  
とは言えない。

問 自主防災組織の育成方向  
は。

答 立上げ経費に5万円、運  
営経費に3万円を補助し支援  
する。

問 女性団員の育成は。

答 機能別分団で女性部を設  
置し、5名の職員が応募した。

問 消防車が入れる道路整備、  
消火栓の見直しは。

答 整備に向けて努力する。

問 観光案内所を商工会に委  
託した経緯は。

答 商工業者と一緒にまちづ  
くりをとの方向性で判断し  
た。

問 観光課を置くべきではな  
いか。

答 観光行政は町が担ってい

くべきと考えている。

問 サルの捕獲事業の進み具  
合は。頭数制限は。

答 100〜130頭の当初  
予定に対し約50頭の捕獲。雌  
が30頭、雄は制限なし。

問 今年度も個体調整に取組  
むのか。

答 今年度は予算計上してい  
ない。

問 サル捕獲の檻の設置を。

答 許可者しか設置できない  
事も踏まえ検討したい。

問 鳥獣被害対策の費用は。

答 猟友会や湯船区への委託  
で約200万円程度。



改修された庁舎玄関スロープ

## 可決した条例など

### ○農業委員会の委員等に関する条例

- ・法改正により公選制から町長の任命制に変更。
- ・農業委員定数を14人、農地利用適正化推進委員定数を9人と規定など。

### ○観光案内所設置条例の制定

- ・事業内容、開所時間や休所日等を規定など。

### ○観光案内所の指定管理者の指定

- ・指定管理者に町商工会を指定。

### ○個人情報保護条例の改正

- ・マイナンバー法関連の変更。

### ○消防団員の公務災害補償条例改正

- ・団員の扶養手当額等の変更。

### ○税条例の一部を改正する条例

- ・住宅ローン減税の延長や軽自動車税関連の改

定等。

### ○職員の育児休暇等に関する条例改正

- ・育児休業の対象範囲の改定。

### ○職員の勤務時間、休暇に関する条例改正

- ・介護休業の分割取得、介護にともなう労働条件の変更など。

### ○介護保険条例の一部を改正

- ・保険料の段階判定に長期・短期の譲渡所得の特別控除額を反映させる改定。

### ○指定地域密着型サービス事業の人員、設備

および運営の基準等を定める条例の改正

- ・18人以下の小規模デイサービス事業所が地域密着型に移行した事をうけての条例制定。

### ○湯船辺地の公的施設の総合整備計画変更

- ・整備する施設の追加や事業費の変更など。



高齢者支援用福祉バス

**問** 1ヶ所に集めて餌付けする方法は。

**答** 一つの方法だが難しい問題だ。

**問** 老人福祉センターの予算が増えているが。

**答** 管理員の賃金、修繕費等で増額。

**問** マイクロバスの利用目的は。

**答** 高齢者の生きがいづくりへの支援が目的。

**問** バスは子供会や青少年活動に利用できないか。

**答** 営利目的でなければ前向きに検討する。

**問** マウンテンバイク、京都DMO、お茶の京都博、広域観光推進の補助金の内容は。

**答** イベントや負担金、観光事業への補助を行う。

**問** ワールドマスターズ調査委託とは。



庁舎設置光BOX

**答** 4年後の開催に向けた現地調査を行う。

**問** MTB施設が負の遺産にならないか不安。

**答** 負の遺産にせず成果を継続させていきたい。

**問** 「お茶の京都茶いぐなライ」の内容は。

**答** 高橋から白栖公民館付近までマーケティングする予定。

**問** 弥勒磨崖仏の近辺整備が不十分ではないか。

**答** 根本的な対策が必要だが検討できていない。

**問** 水道料金の滞納分徴収の見通しは。

**答** 毎年約100万円徴収している。

**問** 光ボックスの操作がわかりにくい。改善方向は。

**答** 現時点で新機種への切替えは困難だが今後普及も検討する。

## 反対

## 岡本正意 議員

この4年間の町政評価、今後の要望の観点から5点を指摘し反対する。①定住促進の取組みに本腰が入っていない。特に住宅問題、子育て支援充実が不十分。②公共交通の整備、充実の方向性が不透明で、住民生活をどう支えるかの視点が弱い。懸案であるコミュニティバスの運行実現を要望する。③教育委員会の連合による運営は不適切。全国でも未だ例はなく教育委員会は各町村に戻すべき。④観光のまちづくりは発展させる必要性はあるが住民合意が大切。観光案内所も現段階であれほどの施設が必要なのか疑問。行政の責任を担保する制度整備が後回しになっている部分もある。⑤同和行政の完全終結への姿勢がなく未だに同和問題を特別扱いする姿勢が残されている。新法を根拠とした特別対策は行わず、きっぱり同和行政を終結すべき。

## 賛成

## 井上武津男 議員

町第4次総合計画の6つのプログラムに沿って、教育観光の推進、景観条例づくり、茶畑ハウス設置、交通安全灯設置維持補助金等、住民との協働によるまちづくりを展開する予算になっている。また「相楽未来づくり協議会」が設置され移住、定住推進への展開が期待できる。

骨格予算ではあるが、予算規模は前年度並みであり、交流人口拡大をめざす「お茶の京都」関連事業、前年度を上回る町道維持管理事業など積極型予算である。また小学校の空調設備整備や小中学校での校内LAN整備など教育振興に力点を置いている等、きめ細かな予算編成になっている事から賛成する。

## 討論

# 平成29年度予算

※質疑を終結した後、採決を行う前に、議案の賛否の理由等を述べるのが討論です。討論は、反対議員から先に行うルールになっています。今回は、一般会計予算案に対する討論(要旨)を紹介します。

平成28年度  
補正予算

進まぬ社会資本整備、交付金減額が響く

道路橋梁費7800万円、住宅費1800万円を減額に

3月24日の本会議に町長から平成28年度の一般会計補正予算（第4号）、簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）、介護保険特別会計補正予算（第3号）が提案されました。審議の結果、町長提案の議案はすべて可決されました。

### 一般会計補正予算

国、府よりの想定以上の交付金の減額で道路橋梁費7800万円、住宅費1800万円が減額補正され、予算額37億3700万円に対して減額の1億1800万円で総額36億1900万円となりました。

### 主な質疑

**問** シルバー人材センターの設立の用途は

**答** 東部3町村の共同で今年4月から「相楽東部未来づくりセンター」を笠置町で設立し協議を進めていく。

**問** 介護予防日常総合支援事業の事業所は何処か

**答** 要支援1、要支援2の方は従来の事業所で、緩和A型は和楽会で、ヘルパーサービスの緩和型は社会福祉協議会で、

また一般介護予防事業では1次予防事業は社会福祉協議会で、2次予防事業（いきいき元氣塾）は和楽会で4月からスタートします。

**問** 介護認定申請を全ての人を対象に受け付けるべきでは

**答** 更新の時期を迎えた方にはチェックリスト、家庭訪問をしてアセスメントを実施し本人にとって一番いいサービスの提供を目指していきたい。

**問** 小中学校PTAの要望書による通学路の安全対策は

**答** 補助事業の対象であり最優先として計画的に維持修繕に今後とも取り組む。

**問** 石寺地区の丸塚橋の安全対策は

**答** 橋梁の長寿命化と合わせ整

備を予定している。橋の構造などの関係を含め欄干の高さ調整も考慮に入れている。

**問** 車が府道から長井橋に出入りするのが困難を極めているが対策は

**答** 府道、橋梁の幅員も狭いので、要望も出ており抜本的に架け替えるか、隅切りを行うか検討をしている。

**問** 社会資本整備事業の道路新設改良費で7800万の減額補正の意味は

**答** 山口線、門前橋と舗装改良等の予算で交付金が申請額の30%程度となった為です。

**問** 統合簡易水道整備事業の本年の進捗は

**答** 本年度の予定していた工事は完了した。次年度は伝送系、連絡系のネットワーのク整備を計画している。

**問** 高齢者の運転免許証の自主返納に対する支援とは

**答** 奈良交通バスのICカードのCIICA（5400円相当）で支援しているが、路線バスの利用促進を促せるような支援策を今後も皆様の意見を取り入れ検討したい。

**問** 茶いくるラインの整備予定の起点と終点はどこか

**答** 高橋のバス停から石寺学校線↓西和東木津線↓白栖撰原線↓和東井出線の交差点部まで予定している。

**問** 町内の道路は幅員がない。その上、自転車の走行ラインを入れると、更に狭くなり町民の生活道路としての安全性、利便性は守られるか

**答** 道路に規制をかけるので木津警察交通課の協議の中で道路の安心安全、また生活道路としての影響等を調査しながら進めたい。

# 町政を問う！提案する！ 一般質問

3月10日に行った一般質問には、4人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。質問順に、各議員の質問項目を紹介します。

## ●岡田 勇議員

1. マウンテンバイクについて
2. クリーンセンターについて
3. 保育料、給食費、修学旅行費等の無償化を
4. 相楽東部広域連合の見直しは
5. 防犯灯の電気代について
6. 町道整備、町営住宅について

## ●岡田泰正議員

1. 葉物野菜（水菜）栽培、販売について
2. 教育観光の取り組み方は

## ●村山一彦議員

1. 犬打トンネル開通後のまちづくりを問う
2. 光ボックスの普及策は

## ●岡本正意議員

1. 人権に関わる2つの法制（案）の認識を問う
2. 医療体制の整備、充実を
3. シルバー人材センターの創設を
4. 若い世代向けの町営住宅整備を

**一般質問**は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。詳細は、後日ホームページに掲載する議事録でご確認ください。



問

マウンテンバイクワールド  
マスターズに向けた取り組みは

答

地元・京都府と一体  
となり進める

問

マウンテンバイク  
(MTB)の開催について  
の条件整備、木津音楽線の  
整備について。又、住民協  
力の必要性は

答 町長

湯船地域の辺地計画を地  
元と一緒に進めて進めた  
い。決まった以上全力で京  
都府と一体となり諸問題を  
解決していきたい。

問

東部クリーンセンターの  
改修の問題。このままでい  
いのか契約まで放置してい  
くのか、もし事故が起これ  
ば、どうするのか。責任問  
題にもなりかねない

答 町長

係争中であり、財政上の  
問題もあり、近隣の笠置町  
南山城村と協議をし、早く  
裁判を終結させるというこ  
とにして、その結果をまっ  
ている所です。

問

子育て支援・保育料・給  
食・修学旅行の無償化につ  
いて

答 町長

第3子は無償化にできま  
した。第2子については今  
後の努力的な問題だろうと  
受けとめております。給食  
費と修学旅行については法  
律に抵触する部分があり無  
償化は出来ない。支援策に  
ついて検討していきます。



岡田 勇 議員

修学旅行については今後努  
力していく。大事な問題だ  
と認識しています。

問

東部連合の見直しについ  
て

答 町長

検証する事は大事な問題  
であり、足もとを見ながら  
前進していきたいと思っ  
ています。

問

町道における防犯灯の電  
気代の軽減について

答 総務課長

要望については、安全・  
安心の町づくりの為、29年  
度から援助金とし制度化を  
進めたい。

問

町営住宅について(早く  
入れるよう進めるべき)

答 建設事業課長

ここ数年、住民の高齢化  
に対して、高齢者向きの建  
設も合わせて行っています。  
現在未使用の住宅の改  
修を行い新たな入居者を募  
集する計画を進めていま  
す。

問

町道整備の見直し、撰原  
下島線については区より要  
望があり、ただちに行うよ  
う

答 建設事業課長

グリーンロード21という  
計画があり撰原区について  
は区と協議を進めている所  
であり、検討を今後を加え  
ていきたい。



京都ゆふねエンデューロ大会



昨年10月完成の町営第3中西団地



問

ガラスハウス利用による  
水菜栽培の目的は

答

6次産業の育成

荒廃地対策、交流人口拡大、雇用創造に貢献

問

ガラスハウスの履歴は

答

農村振興課長

昭和63年度から公益法人和東町活性化センターによって栽培が開始された。礫岩によるトマト、バラ、茶、メロン、の栽培等遍歴を経て、水菜栽培に至っている。

問

以上の提案型の作物が栽培された栽培記録は、どのように生かされているのか

答

町長

新しい農業模索よりも、ガラスハウス事業で町のPRと、周辺土地の整備確保

を図り、グリーンパーク構想で取り組んだ経緯であり作業記録は無い。

問

第1次産業（農園事業）

↓第2次産業（製造・加工）

↓第3次産業（直売所・飲食）と一貫した事業展開の達成度は

答

町長

1次、2次、3次産業の育成迄には至っていない。

問

行政から民間への移行の目的はついているのか

答

町長

農業は行政が火付け役として今後も徹していきたいが、現在のところ用途は



岡田 泰正 議員

立っていない。一方でケール、ハーブ栽培に新たな芽が育ちつつある。

問

就農希望者を受け入れて

第2の農業に育てる確信は

答

町長

農山村の生き方、生きがいのある地域づくりを考え、いく必要があり、この取り組み（水菜栽培）を、今しばらく続けていきたい。

教育観光の取り組み方

問

教育観光を今何故取り組

もつとしている背景とは

答

町長

日本の中でふるさと生活体験、農山村の生活体験と

か、体験型の観光に人気があり、修学旅行にも教育の一環としてプログラミングがされてきた。

問

農家民泊の受け入れ家庭の拡大にはどのように取り組むのか

答

町長

教育観光には積極的に応援をしていきたい。100軒以上の農家民泊の登録を目指し出来れば全ての人員が町内で受け入れられる態勢を整えたい。現在は、活性化センター、Iターン等のグループで活動頂いている。

問

コーディネーター組織とコーディネーターの育成については

答

町長

専任の担当者を置くことと理事長（副町長）は計画案を持っている。民泊の制度の趣旨を十分に理解しながら育成に努めていきたい。

問

教育観光の組織形態（法人格等）の取り組み方は

答

町長

法人格を目指し取り組むべきだと考えている。

問

活性化センター周辺の駐車場の整備計画は

答

町長

犬打峠のトンネルが開通したら多くの方が来られる事が期待され、和東町のまちづくりにとっては重要であり、早急に取り組んでいく。

山城地域お茶香る感動体験入村式・離村式

入村式	離村式
1. 開会	1. 開会
2. 町よりのご挨拶	2. 町よりのお別れの挨拶
3. 受入家庭代表の挨拶	3. 受入家庭代表の挨拶
4. 学校種 代表のご挨拶（生徒様 代表、校長先生または学年主任の先生）	4. 学校種 代表のご挨拶（生徒様 代表、校長先生）
5. 連絡事項等（学校種、事務局）	5. 受入家庭との最後の交流
6. 閉会	6. 閉会
7. 受入家庭との対面（マッチングを受入先ごとに行います）	7. 集合写真の撮影等（集合写真の撮影等にお時間をお使いください）
8. その後、家庭ごと随時解散	8. お見送り



入村・離村式は室内で開催 対面式 感動の離村式 涙のお別れ

山城地域お茶香る感動体験

問

企業誘致を考えないか

答

まず景観条例を  
設定したい

問

犬打トンネル開通が平成35年とわずか6年先。今示されている和東町第四次総合計画基本計画の見直しが必要ではないか

答 町長

今、トンネル開通後の波及効果を調査、そして茶源郷未来型交流のまちづくり調査研究事業で調査結果が出ている。この調査結果を踏まえたまちづくりを進め、具体的な計画は次期総合計画に盛り込んでいきたい。

答 総務課長

犬打トンネルが開通するのは平成35年度の予定ですので、第四次総合計画後期基本計画について、現在、

見直しの予定はありません。

問

和東町には、三つのゾーンと三つのエリアが設定されているが、ここに工場（企業）誘致エリアを設置できないか

答 町長

和東町は景観を活かしたまちづくりをしているが、生業として茶業もあり農振という点を重点に置いた計画づくりになる。しかし、議論はしっかりと行い総合戦略で解決していく。

問

前回、乱開発を防ぐためにも景観条例の制定をして



村山 一彦 議員

いくことも大事だと答弁ありましたが、景観条例はどうなっているか

答 町長

住民と共有するという共通認識を深めていかないといいけない。該当する区長さんと話し合いを進めている。今後、その延長の中に景観条例を目指したい。

問

京都府の事前評価調書（犬打トンネル）では、平成42年度予測として一日当たり、4800台となっているが、国道163号線まで接続されるのか

答 町長

まだ具体的な話しはなし。これから関係団体が協

力し、要望していくことが大事。

問

光ボックスの加入世帯が420世帯と2年間全く増えてない。議会放送を考えている今、加入促進策をとるべきだと思うが町としての促進策は

答 総務課長

和東町内で現在インターネット環境が整備されている世帯が約700世帯あり、そちらにPRして行きたい。さらに各区に、補助制度を周知し設置を呼びかけたい。

問

初期工事費用が27年4月末までは4000円と割引されており、現在は約2万円。これが増加を阻んでいる要因と考えるが、再度割引交渉の用意は

答 総務課長

NTTと協定を結んでいるとはいえ、企業であるので営利を目的にしているのので、公平

1 京都府南部に新たな交流の輪が広がる

新名神の開通と併せて犬打峠トンネルの開通によって、京都府南部地域において新しい循環が生まれることが期待される。

特に、相楽東部にとって、犬打峠トンネルの開通は新名神高速道路・宇治田原インター及び城陽インターの開通などの国土幹線と直結つながるインフラ整備であり、広域的なアクセシビリティは大きく向上することになる。

これまで分断を余儀なくされていた相楽東部と京都、宇治・城陽地域が直接結ばれることに加え、三重県方面からの物流が相楽東部に入り込むことが期待

新たな交流の輪

茶源郷未来型交流のまちづくり調査研究事業

犬打峠トンネルが開通したら  
京都府南部がこう変わる

平成28年12月  
和東町

トンネルが開通したら

性、透明性を確保した形で取り組んでいかなければならない。

問

若者向けの町営住宅は  
どうしても必要

答

住宅の整備、確保は必要。  
今後とも検討する

問

若い世代向けの町営住宅  
整備の方針を持ち、検討を

答 町長

若者向けの住宅不足は認  
識しており整備や確保は必  
要と考えている。空き家活  
用とリンクして検討した  
い。

特別対策の復活は許され  
ない

問

「部落差別解消推進」法  
が成立したが、新たな特別  
対策の根拠にはならないと  
の認識か

答 町長

国や府と連携し必要な施  
策に取組みたい。

問

旧同和地区を対象にした  
実態調査等はすべきではな  
いと考えるが

答 人権啓発課長

国主体で適切な方法で実  
施されると考えている。

問

それでは同和対策の復活



岡本 正意 議員

になる。特別対策は実施し  
ないのが国会の結論であ  
り、調査は行うべきではな  
い

答 人権啓発課長

法律に基づき実施してい  
きたい。

憲法違反の「共謀罪」法  
案に反対を

問

「共謀罪」法案は基本的  
人権を侵害する内容であり  
すべきだ

答 町長

今日的課題に必要なならば  
慎重に検討いただき進めて  
いきたい。

問

人権侵害にあたらぬ

進めて良いとの認識か

答 町長

憲法の規定に違反するこ  
となく制定されるべきだ。

夜間診療、小児医療の体  
制充実を

問

国保診療所の夜間診療日  
の増設を

答 町長

夜間診療を増やすのは難  
しい。

答 診療所事務長

医師やスタッフの健康維  
持の観点から現状維持が妥  
当。

問

診療所も開業医も休みの  
水曜日だけでも診療日に

答 診療所事務長

急患の場合は医師が在院  
していれば可能な限り受付  
けたい。

問

小児専門医の診療日を

答 町長

専門医確保の困難等もあ  
り、近隣の専門医を受診し  
てほしい。

診療所事務長

近隣の専門医の情報提供  
を強化したい。

問

相楽地域内での365日  
24時間小児救急受入れ体制  
の整備を

答 町長

広域事務組合等を窓口  
に  
対策を協議し、保健所や関  
係市町村と連携し対応した  
い。

問

府への要望を強化してほ  
しい

答 町長

府の医療対策推進委員も  
務めており、強く要望した  
い。

シルバー人材センターの  
早期開設を

問

シルバー人材センター開  
設の検討状況は。期日を持  
ち、早期に開設・稼働を

答 町長

開設予定の相楽東部未  
づくり推進協議会で検討し  
ていきたい。

意見書

第1回定例会(3月)に次のとおり意見書が提出されました。

京都府南部地域に地方裁判所・家庭裁判所支部を設置することを求める意見書

提案者 岡田泰正 賛成者 全員 議員

可決

「共謀罪」の法制化に反対する意見書

提案者 岡本正意 賛成者 議員

否決

国際基準を踏まえた実効性のある労働時間規制を求める意見書

提案者 岡本正意 賛成者 議員

否決

京都府南部地域に地方裁判所・家庭裁判所支部を設置することを求める意見書

現在、京都より南に位置する宇治簡易裁判所及び木津簡易裁判所管轄地域(以下、京都府南部地域という)は、約56万人という京都府全体の約21%にあたる人口を抱えているが、同地域には、地方裁判所及び家庭裁判所の支部はなく、扱える事件に限定のある簡易裁判所しかない。

このため、訴額が140万円を超える民事訴訟事件や民事執行事件、保全事件、破産・再生事件等は、京都市内にある京都地方裁判所本庁で行う必要があるが、また、家事調停・審判事件、人事訴訟事件、少年保護事件等も京都市内にある京都家庭裁判所本庁で行われている。

京都府南部地域には、京田辺市、木津川市、精華町等、人口増加が続いている地域が存在する。他方で、高齢化が進み、移動手段を公共交通機関に頼らざるを得ない住民が増え続けている地域も少なくない。そうであるにも関わらず、この地域から、現在の管轄裁判所である京都地方裁判所本庁や京都家庭裁判所本庁へのアクセスは、公共交通機関の便数が少ないこともあり、大変厳しいものとなっている。これは、京都府南部地域が、司法基盤の人的・物的両面において、不十分・未整備のまま放置されていることを示しているといわざるを得ない。

しかしながら、居住する地域にかかわらず、国民には等しく裁判を受ける権利(憲法32条)が保障されるべきである。和東町の住民の権利を受ける権利を十分なものとするために、速やかに京都地方裁判所及び京都家庭裁判所の支部が設置されなければならない。

よって、国会及び関係諸機関に対し、京都府南部地域に地方裁判所支部及び家庭裁判所支部を設置することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成29年3月24日 京都府相楽郡和東町議会

各議員の賛否

平成29年第1回定例会(3月)に、町長から提案された議案のうち賛否がわかれたもの。

審議結果	会議区分	議案名	議員名										
			竹内きみ代	藤井清隆	村山一彦	吉田哲也	井上武津男	岡田泰正	岡本正意	小西啓	岡田勇	畑武志	
可決	委	平成29年度和東町一般会計予算	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
可決	委	平成29年度和東町国民健康保険特別会計予算	-	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
可決	委	平成29年度和東町下水道事業特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
可決	委	平成29年度和東町介護保険特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
可決	委	平成29年度和東町後期高齢者医療特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
可決	本	和東町農業委員会の委員等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-
可決	本	和東町観光案内所の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	-
可決	本	和東町個人情報保護条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	-

※会議区分 本は本会議 委は予算特別委員会 ○は賛成 ×は反対 欠は欠席  
-は採決に加わらない。

畑武志議長は本会議の採決に、竹内きみ代予算特別委員長は決算認定の採決に加わらない。



わづか議会だよりNo.167号のお詫びと訂正

P5 木崎 義史氏 → 木崎 善史氏 籠島 利幸氏 → 籠嶋 利幸氏  
P14 中村 宏美さん → 中村 広美さん

**総務厚生常任委員会**

**議会中継を  
6月から運用**

**委員長 井上武津男**

2月27日に、平成28年度の進捗状況と、平成29年度の予算概要について調査を行った。

総務課では、28年度庁舎改修や耐震補強改修工事も大詰めとなり、光ボックスを活用した議会中継を6月から運用の予定、町営バス木屋線運休に伴うタクシー運行業務では、今年度1月末で延べ48名の利用があった。また大学生など奨学金給付事業では、今年度、高校生3名、大学生1名が対象になったとの説明を受けた。

地域力推進課では、2月22日地域おこし協力隊により、ワークショップが行われ、20名の参加があった。お茶の京都博に向けた灯りイベントが2月18日、19日に開催され、500人の参加があった。

あつた。福祉課では、満70歳以上を対象とする高齢者肺炎球菌ワクチン接種、乳幼児インフルエンザ予防接種をおこなった。

平成29年一般会計の総額は30億1950万円、前年度対比3億2950万円、9.8%の減額となつている。特別会計は21億5716万円、2億570万円減、9.8%の減額となつた。

減額の主なものは、役場庁舎改修事業完了によるもの、特別会計では、国民健康保険特別会計の

保険給付費の減、簡易水道特別会計の事業費の減が主であつた。

質疑では、各委員から、海洋センターの屋根の改修対策は、3町村広域バス実証運転結果は、機能別消防団員の実態は、バス停留所の改修、町税収入未済対策、各区に地域おこし協力隊担当の配置はできないか等々、多数の質疑応答があつた。

午後からは、観光案内所の視察で、担当者から説明を受け、当日の現地調査を終えた。



観光案内所を視察中

## 一部事務組合・広域連合議会報告

### 相楽東部広域連合議会

#### ごみ焼却処理集結まであと2年

3月9日第一回定例会が開催され、各町村3名の議員から一般質問があつた。内容としては、あと2年となるごみ処理について、連合9年目を迎え、これまでの成果と課題、小学校教育等々であつた。

平成28年度補正予算は全員賛成で可決。教育長の給与見直し等の条例の一部改正は賛成多数により可決。又平成29年度一般会計は、歳入歳出それぞれ8億9581万円で賛成多数で可決。

### 京都府地方税機構広域連合議会

#### 監査委員に勢旗毅氏選任

2月26日、定例会が開催された。監査委員選任については、与謝野町の勢旗毅氏が選任された。

29年度一般会計予算は、歳入歳出予算21億6982万円で、賛成多数で可決。また、28年度一般会計補正予算は、予算額24億6472万円とし、全員賛成で可決された。

### 京都府後期高齢者医療広域連合議会

#### 個人番号制度運用始まる

2月10日に第一回定例会が開催され、28年度一般会計予算並びに特別会計予算、29年度一般会計予算(新規事業としては、個人番号制度の運用等)並びに特別会計予算が提案され、いずれも賛成多数で可決された。

産業常任委員会

# 統合簡易水道事業 29年度で終結

委員長 吉田哲也

2月28日に平成28年度の事業進捗状況及び29年度の予算の概要について事務調査を行った。

始めに、平成29年度は町長選挙がある為、骨格予算であるとの説明があった。

農村振興課から中山間地域等直接支払交付事業の対象者は14集落81人、青年就業給付事業対象者は6名、また共同製茶等省力化推進事業で乗用型摘採機2台を申請中、豊かな森を育てる府民税交付金事業では、林道等機能向上や木育用備品、森林探検隊補助等に活用されている。

野生鳥獣個体数調査事業では現在の猿捕獲数は34匹と報告があった。

建設事業課では町営住宅の建て替えや門前橋整

備事業は完成し、本年度事業も完成に向け進行中であるとの報告をうけた。

平成29年度の一般会計及び特別会計は、予算特別委員会で審査を行うことから、概要説明だけにとどめた。

各委員から質疑があり、農村振興課関係では碾茶工場の進捗状況は、農地中間管理機構の活用と出品茶の取り組みについて、建設事業課関係では、公共料金の滞納状況や計画している道路整備事業の補助金の要望を、との意見・質問があった。

午後からは、府道木津信楽線に不法投棄されている現地踏査を行い、当日の調査を終えた。

2月17日の委員会で、式部てん茶加工工場について、工場建設の相

談を受けた時点から京都府への補助事業申請、交付決定までの流れ、建築工事及び製造請負工事の入札に至るまでを時系列に説明があった。

また、雇用促進協議会が実施されている「ワヅカナジカン」援農支援事業については、厚生労働省の実践型地域雇用創出事業で就職促進事業における新規就農相談会のプロگرامとして考案されたもので、茶産業の繁忙期である5月～7月までの3ヶ月間茶農家と援農者を結びつけて農業支援と地域に根付いた新規就業予備軍をつくるという内容になっている。平成28年度の参加者は18人であったとの説明があった。



ゴミが散乱する府道木津信楽線

## 一部事務組合・広域連合議会報告

### 山城病院組合議会

2月15日、山城病院会議室で開催された。管理者から昨年12月3日に「合同災害医療訓練」を山城南医療圏全体で実施し、各市町村、消防、警察、医師会等140名の参加があったとの報告があった。

主な議案は28年度一般会計補正予算、29年度一般会計予算等4件で、全て全員賛成で可決された。その他、4名の一般質問があった。

### 相楽中部消防組合議会

2月20日、第一回定例会が開催された。はじめに河井管理者から28年度の管内火災状況等、6点の報告があった。続いて公平委員会委員選任等、3件の同意書が出された（賛成者全員）。主な議案は29年度の一般会計予算で（前年度比較で1860万円の増額）3件が提出されたが、賛成者全員で可決された。

### 相楽郡広域事務組合議会

2月20日に相楽会館で定例会が開催された。はじめに、し尿処理業務の搬入量は年々減少している等、計5件の報告があった。

続いて、職員給与条例の一部改正案は賛成多数で、その他、28年度一般会計補正予算、29年度一般会計予算等、4件の議案書は、全員賛成で可決された。

議長に岡田勇氏  
議会構成が変わりました

議会では、任期の開始（27年5月1日）からほぼ2年となる4月26日に、議長・副議長や常任委員などの議会構成を変更しました。任期は申し合わせにより1年間。新しい体制で議会運営します。



議長 岡田 勇



副議長 岡田 泰正

私達は、4月26日の臨時会において、議長・副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であると同時に、職責の重大さに身の引き締まる思いであります。

議会の運営については、不偏不党、公正無私を旨とし、執行機関とは各々のもつ権限を尊重しつつ、是々非々の立場を堅持してまいれる所存であります。

本町は、少子・高齢化の進展、過疎対策等課題が山積しており、執行機関との真摯な議論により、諸課題の解決に努めてまいります。また、研鑽を深め、町民皆様に信頼される議会運営に努めてまいりますので、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

監査委員 畑 武志

委員会

議会運営委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 小西 啓   |
| 副委員長 | 村山 一彦  |
| 委員   | 吉田 哲也  |
| 〃    | 岡田 泰正  |
| 〃    | 竹内 きみ代 |

総務厚生常任委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 竹内 きみ代 |
| 副委員長 | 村山 一彦  |
| 委員   | 藤井 清隆  |
| 〃    | 岡本 正意  |
| 〃    | 岡田 勇   |

産業常任委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 吉田 哲也  |
| 副委員長 | 小西 啓   |
| 委員   | 井上 武津男 |
| 〃    | 岡田 泰正  |
| 〃    | 畑 武志   |

広報編集委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 竹内 きみ代 |
| 副委員長 | 吉田 哲也  |
| 委員   | 藤井 清隆  |
| 〃    | 村山 一彦  |
| 〃    | 小西 啓   |

一部事務組合議会議員

相楽郡広域事務組合議会議員

- |      |
|------|
| 岡田 勇 |
| 小西 啓 |

相楽中部消防組合議会議員

- |        |
|--------|
| 岡田 勇   |
| 井上 武津男 |

国民健康保険山城病院組合議会

- |       |
|-------|
| 畑 武志  |
| 村山 一彦 |

広域連合議会議員

京都府後期高齢者医療広域連合議会

- |      |
|------|
| 岡田 勇 |
|------|

京都地方税機構広域連合議会

- |        |
|--------|
| 竹内 きみ代 |
|--------|

相楽東部広域連合議会

- |       |
|-------|
| 岡田 勇  |
| 岡田 泰正 |
| 藤井 清隆 |
| 畑 武志  |

まちの  
“元気”を  
訪ねて

# 田舎暮らし、ゲストハウスの夢を実現!地域の 温かさに感謝の日々

～プロジェクト・マイケルさん、育子さん～

2年前に和東に移住、農家民宿「Blodge Lodge」(ブロッジロッジ)を半年前にオープンして多くの外国人観光客を受入れておられるお二人にお話しを伺いました。

**Q** 大阪から移住してこられたとお聞きしていますが、そのきっかけは?

**A** 南加茂台に実家があり、その近くで田舎暮らしがしたいと探していました。友人が「和東はいいよ」と紹介してくれて、家が見つかり移住しました。

決め手は、田舎暮らしとゲストハウスをしたという夢をかなえる環境としてピタッときた事です。

**Q** 和東に来られてからの印象は?

**A** 子どもを育てるのにとっても良い環境なので、お客さんにも「和東暮らし」をおすすめしています。コミュニケーションがとても強くて、地域の行事にも参加させていただき、とても楽しく、有難く思っています。



**Q** 農家民宿を開業されて半年、多くのゲストを国内外から受入れておられます。これらの町の観光については?

**A** 引き続きインバウンドの受入れを続けてほしい。長く滞在してもらえて、その中でいろいろと体験してもらえたらいいですね。飲食店や野外での遊び場等が増えてほしいし、雨天時でもいろいろと体験できる場所があればいいですね。

**Q** 実際に住んでみて、良かった事やもつとこ

**A** うなればと思う事などは? 地域みんなで見守っていただき有難いです。外国人だから、というような雰囲気はなく、受け入れてくれます。

移住をすすめる上で住環境がネックになっています。移住促進住宅や空き家バンクの整備、充実などを望みます。バスも存続してほしいですね。

**Q** 町内の皆さんにお伝えしたいことは?

**A** 農家民宿としても観光も盛り上げていきたいが、地域住民としても出来る事を頑張っていきたいと思っています。

(取材:畑 武志、岡本 正意)

第2回定例会は、6月13日開催予定。傍聴にお越しく下さい。

## 編集後記

5月も半ばを迎えると和東町はまさにお茶・お茶・お茶の真つ盛りです。今年度は京都府の進める3つの京都の締めくくり「お茶の京都」の年でもあります。

本町も府と共にお茶の産地として、長い歴史や素晴らしい景観を世界文化遺産登録への取組として、茶業振興や文化発信に努めてるところです。

29年度当初予算は町長選を控え、骨格予算の編成となっておりますが、それでも今年だからその色合いが強くなります。

我々議会も任期4年の後半部に入り、更に充実度を増していきます。

今回の議会だよりは3月議会での模様をお伝えしていますが、本町の将来我々議員の意気込みを読み取っていただければ幸いです。

(畑 武志)

## 広報編集委員会

- 委員長 岡本 正意
- 副委員長 井上 武津男
- 委員 吉田 哲也
- 委員 畑 武志
- 委員 岡田 泰正